

■ 約1万人参加の大規模避難訓練とJR西日本・マツダ(株)などが参画の防災イベント ■ 「関大防災 Day2017～広がれ！みんなの安全・安心！～」を実施

～ 『ボタンを押す』という行動で、人の命を守ることができる！ホーム非常ボタン啓発イベント～

～ 国内大学初！シューワ(株)と大規模災害時における石油燃料配送に関する基本契約を締結～

【関大防災 Day2017】10月27日(金)11:40～16:10 【場所】千里山キャンパスほか 全5キャンパス

【シューワ(株)との調印式】10月27日(金)10:00～11:00 【場所】千里山キャンパス 100周年記念会館

関西大学ではこのたび、学生・教職員・地域住民ら約1万人が参加する大規模地震避難訓練「関大防災 Day2017～広がれ！みんなの安全・安心！～」を、10月27日(金)11:40から、総面積約35万㎡の広大な千里山キャンパスおよび4つのキャンパス(高槻・高槻ミュージズ・堺・北陽)にて実施します。

本件の
ポイント

- ・ マグニチュード7.6を想定した、本学オリジナルマニュアルに基づく実践的避難訓練
- ・ 備蓄品を使用した大学・地域協同による炊出し訓練、キャリダンや降下型避難器具などの体験型防災イベントに加え、JR西日本の非常ボタン動作体験やマツダ(株)による災害時に役立つクリーンディーゼル車の展示など、企業・団体の防災への取組みを紹介するテントブースに約30社(団体)が出展
- ・ 国内の大学では初となる、大規模災害時における石油燃料配送に関する基本契約を締結・調印式を実施

「関大防災 Day」は2010年から実施しており、今年で8回目を迎えました。訓練では、授業中にマグニチュード7.6の「上町断層直下型地震」(震度6強以上)が発生したと想定し、学生・教職員の避難から誘導、安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づき実施します。

さらに千里山キャンパス構内では、大学・地域協同による炊出し訓練をはじめ、火災発生時の煙体験や水害時の浸水時ドア開閉体験、日本赤十字社による応急処置体験、消火器・消火栓放水体験、キャリダン(非常用階段避難車)や降下型の避難器具体験、災害用備蓄庫見学ツアーなど、防災に関連したさまざまなイベントを開催します。加えて、JR西日本のブースでは、駅構内に設置されている非常ボタンについて、いざというときに躊躇なく使用できるよう、実物と同様の模擬装置を使用し、動作体験を行います。また、マツダ(株)が運搬や貯蔵が容易な軽油で走ることから災害時に役立つと注目されているクリーンディーゼル車を紹介するなど、企業・団体の取組みを紹介するブースを出展します。

そしてこのたび、地域の防災拠点形成のためのさらなる取組みとして、国内の大学では初となる大規模災害時における石油燃料配送に関する基本契約をシューワ(株)と締結することとなりました。ライフラインが寸断される大規模災害時での石油や灯油といった燃料確保の課題解決に向けた先進的な取組みであると言えます。また同社とは、防災・減災分野における日本有数の教育・研究機関である本学社会安全学部との共同研究に係る協定も締結する運びとなっており、避難訓練に先立ち同日10:00より調印式を執り行います。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

【「関大防災 Day2017」千里山キャンパスでの開催概要】

【日時】 10月27日(金)

- (1) 10:00～11:00 シューワ(株)との大規模災害時の効果的な燃料輸送についての共同研究に係る協定および大規模災害時における石油燃料配送に関する基本契約 調印式
- (2) 11:40～12:10 地震避難・安否確認訓練
- (3) 11:40～16:10 防災イベント(詳細は別紙をご参照願います)

【場所】 関西大学千里山キャンパス 各所(※シューワ(株)との調印式は100周年記念会館)

【参加者】 本学学生・教職員・地域住民 約1万人

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

【関西大学 シューワ株式会社

大規模災害時の効果的な燃料輸送についての共同研究に係る協定
大規模災害時における石油燃料配送に関する基本契約 調印式】

日時：10月27日（金）10：00～11：00

場所：関西大学千里山キャンパス 100周年記念会館 第1特別会議室

【地震避難訓練・安否確認訓練】（千里山・高槻・高槻ミューズ・堺・北陽キャンパス共通）

○地震避難訓練（11：40～12：10）

2時限目の授業中、11：40に地震音を放送。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導。

○安否確認訓練（11：50頃～終了まで）

避難場所において、安否確認シートの配布・回収を行う。
並行して、緊急連絡メールシステム（日本語・英語対応）を利用した
安否確認を行う。

これらの実施結果から、安否確認方法の有効性を検証する。

※緊急メールシステム（英語対応）は今年度より新規実施



【防災イベント】（千里山キャンパス）

① 炊出し訓練・試食会（12：00～配給実施終了まで）

本学災害用備蓄品のサバイバルフーズ（チキンシチュー・野菜シチュー）を利用し、学生・教職員・近隣住民が協同で約2,000人分の炊出し訓練を実施。来場者に配給を行う。

② 給水場所の確認および設営訓練（12：00～15：00）※新規実施

災害時供給水源からの給水場所設営訓練。同場所の認知度を高めるため、
学生・教職員・近隣住民に啓発。



③ 火災時煙体験（12：00～15：00）

吹田西消防署の協力を得て、テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、
火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験する。

④ 避難器具体験（12：00～15：00）※非常用階段避難車「キャリダン」を使用した訓練は新規実施

非常用階段避難車「キャリダン」および降下型避難器具を使用しての降下避難を体験する。

⑤ 消火栓・消火器体験（12：00～15：00）

実際に消火器を使用しての消火訓練および屋外消火栓を使用しての
放水訓練等、実際の消火作業を体験する。

⑥ 応急処置体験（3回実施〔13：00～、14：00～、15：00～〕）

日本赤十字社の協力を得て、身近な道具（雑誌・ハンカチ等）を
利用した応急処置の講習を実施。



⑦ 浸水時ドア開閉体験（12：00～15：00）

本学環境都市工学部・石垣泰輔教授研究室の協力のもと、実物大ドア模型を用いた浸水時避難体験。
実際に浸水した場合、どのくらい水位が上がればドアを開けることができなくなるかを体験する。

⑧ 災害用備蓄庫見学ツアー（14：45～15：00）

食料や毛布、簡易トイレ、発電機などの災害時に備えた備蓄庫を見学し、本学の防災に対する備えを認識する。

⑨ 企業・団体による防災啓発ブース（11：50～15：00）※JR西日本、マツダ㈱など新規出展企業あり

防災への関心を高め、防災意識を共有できるように、多くの企業・団体に協力いただき、災害対策用品や保存食等を紹介（試食含む）するテントブース（約30張）を設置。大学・学生の防災分野の取組みも紹介。

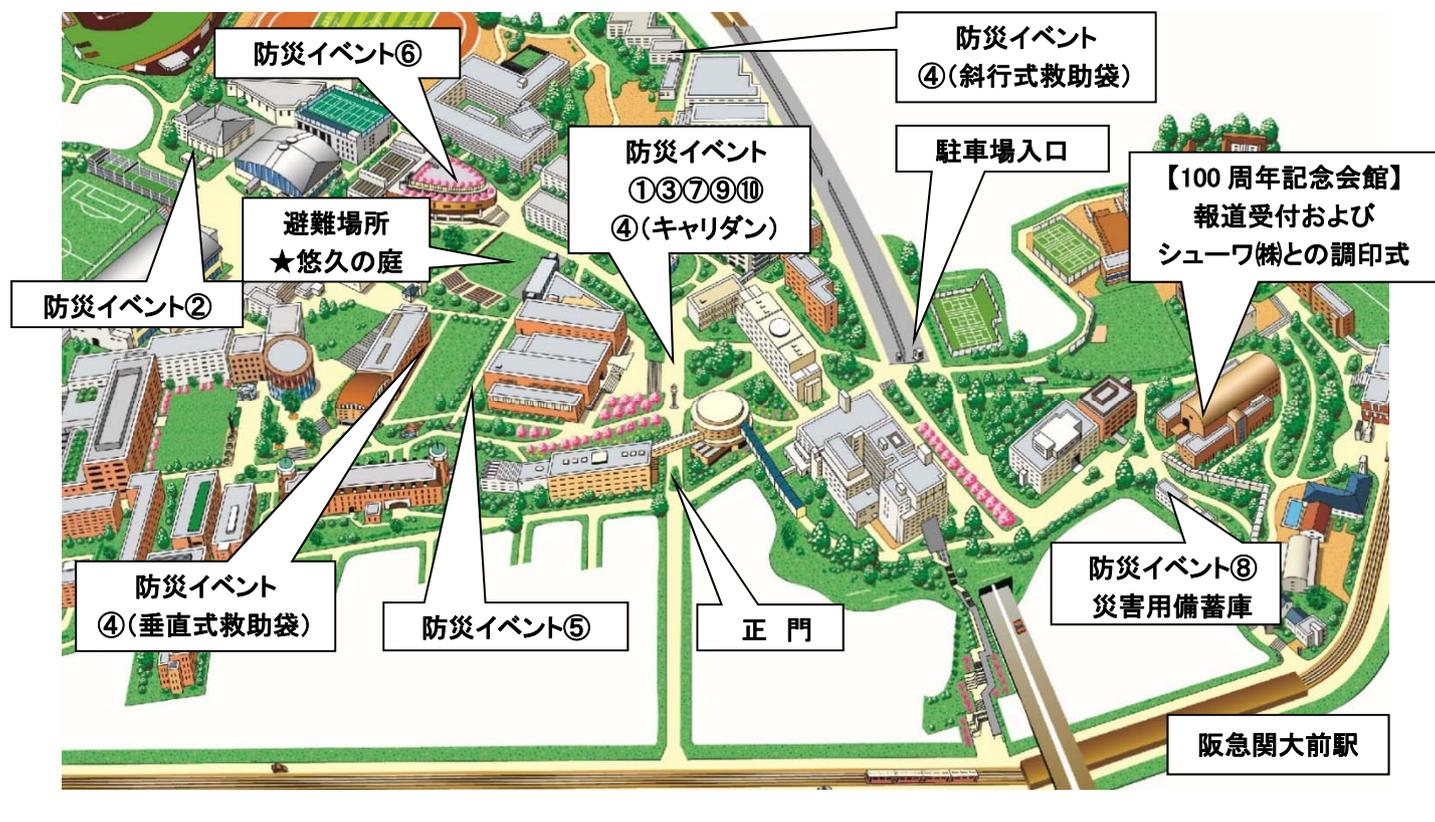
JR西日本による非常ボタンの動作体験・説明や、マツダ㈱による災害時に役立つと注目されている軽油で走るクリーンディーゼル車の展示・紹介を新規に実施する。

⑩ 吹田市危機管理室の取組み紹介（11：50～15：00）

「吹田市地域防災総合訓練」等の行事パネル、100均ショップで揃う防災グッズの展示・紹介および地域の取組みを紹介。

「関大防災 Day2017～広がれ！みんなの安全・安心！～」

【関大防災 Day2017】10月27日(金)11:40～16:10 【場 所】千里山キャンパスほか 全5キャンパス
【シューワ栴との調印式】10月27日(金)10:00～11:00 【場 所】千里山キャンパス 100周年記念会館



＜取材に関するご案内＞

- ▼報道受付は 100 周年記念会館（上図参照）で行います。（防災イベントからの取材は 12：00 正門）
- ▼車でお越しの場合は、駐車場（上図参照）に駐車してください（キャンパス内への乗り入れ不可）
- ▼各社の社章（腕章）をご用意ください。
- ▼取材可能な場所は以下のとおりです。
 - ・シューワ栴との調印式 ・教室（当日ご案内） ・避難場所（★悠久の庭） ・各種防災イベント
- ▼取材をお申込みいただく際は、下記の中からご希望の取材内容をお知らせ願います。
 - ①「シューワ栴との調印式」からの取材を希望
⇒**10：00**に 100 周年記念会館までお越しください。
 - ②地震避難訓練からの取材を希望
⇒**11：15**に 100 周年記念会館までお越しください。
 - ③防災イベントからの取材を希望
⇒**12：00**に千里山キャンパス正門までお越しください。
- ▼その他ご要望やご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

関西大学広報課 担当：石田、寺崎

TEL：06-6368-1131 E-Mail：kouhou@ml.kandai.jp